

APEC食料安全保障担当大臣会合(新潟市) ～特別電波監視を実施～

信越総合通信局では、10月16日(土)から17日(日)にかけて開催された「APEC食料安全保障担当大臣会合」の開催にあたり、警備担当機関、交通機関、救急機関、報道機関などの重要無線通信に対する電波妨害事案等の発生を未然に防止し混信妨害発生時における迅速な対応を図るため、15日(金)から17日(日)の間、奥局長を本部長とする「重要無線通信妨害対策実施本部」を設置して特別電波監視を実施しました。

信越総合通信局(長野市)で電波監視システムDEURAS(※)を使い、また、機動力のある不法無線局探索車を新潟市内に派遣し会合が開催される「朱鷺メッセ」周辺で監視を行い、会合前日から会合終了まで24時間体制で特別電波監視を行い、重要無線通信への混信等の事案の発生に備えました。この期間中は、関係者のご協力もあり混信等の発生はありませんでした。



【右：センサ局】



【上：センタ局】

※総務省では電波監視の強化のため、電波監視システム(DEURAS)を全国各地に整備しており、各地の総合通信局(センタ局)から主要都市などに設置してあるセンサ局を遠隔操作し受信した電波を分析することでその位置を特定することが可能です。

(問) 無線通信部 監視調査課 026-234-9945

不法無線局根絶!

信越総合通信局では、管内の各警察署の協力を得て、大型トラックなどの車両に開設した不法無線局、(不法市民ラジオ、不法パーソナル無線、不法アマチュア無線など)を対象とした取締りを推進しており、今年度は9月末までに、長野県では飯山警察署、千曲警察署、佐久警察署、木曾警察署、新潟県では胎内警察署、津川警察署、十日町警察署と共同で路上での取締りを実施し、5名を不法無線局開設(電波法第4条違反)の容疑で摘発しました。



また、不法無線局を開設している疑いが強い不審なアンテナを設置している車両を探知した場合には、その車両の使用者に対して注意書・警告書を送付することで、不法無線局の防止に関する啓発にも取り組んでおり、9月末までに、21件について、注意書・警告書を送付しました。信越総合通信局では、良好なテレビ・ラジオ放送の受信、消防・救急無線などの生命財産の保護を目的とした無線通信に影響が生じないように、これらの取組を通じて不法無線局の根絶を目指し、健全な電波利用環境の充実を通じて信越地方の発展に貢献してまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

CONTENTS

■APEC大臣会合(新潟市)で特別監視を実施.....1	■管内における全体契約数の増加傾向続く!.....4
■受信相談所の開設・地デジ周知広報活動の実施.....2	■Let's 地デジ! 私たちも応援します!!.....5
■会長賞2名、奨励賞2名ほか各賞受賞者を表彰.....3	

受信相談所の開設・地デジ周知広報活動の実施 ～地域イベントで地デジの推進をPR～

信越受信環境クリーン協議会は、信越総合通信局及び長野県テレビ受信者支援センターと共同で、10月16日（土）～17日（日）の2日間、長野県飯田市の飯田文化会館で開催された「生活と環境まつり2010」において、放送受信障害に関する受信相談所を開設し、ビル陰障害や電気雑音などによるテレビやラジオの受信障害及び地上デジタル放送に関する受信相談や周知広報活動を実施しました。

当日は、「アナログ放送の時に設置されたビル陰難視施設の改修案として、CATV加入かアンテナ設置を勧められているが、どちらがよいのか」、「地形の影響により地上デジタル放送の一部のチャンネルがうまく映らない」といった相談が寄せられました。

また、地上デジタル放送への移行については、さまざまなメディアを通じて周知されているためか、すでにご存じの方も多く、実際に地上デジタル放送を視聴している方から、「2台目のテレビにチューナーをつけたいが値段は幾らぐらいなのか」、「CATVでデジタル放送を見ているが、複数のテレビで見るにはSTB（セットトップボックス）を全部つけなくてはいけないのか」等の具体的な質問も数多くありました。

地元主催の地域に根ざしたイベントのため、2日間で約1,650名もの来場者があり、さまざまな年代の方々からの受信相談を受けると共に、地上デジタル放送に関する理解を深めていただきました。



「生活と環境まつり 2010」（飯田市）で地デジ放送の受信相談に応じるスタッフ



(問) 情報通信部 放送課 026-234-9938



会長賞2名、奨励賞2名ほか各賞受賞者を表彰 ～平成22年度受信環境クリーン図案コンクール～

信越受信環境クリーン協議会では、10月を「受信環境クリーン月間」と設定して、テレビやラジオなどの放送受信障害防止についての知識の普及・啓発活動に取り組みました。

同月間の一環として、管内の中学生を対象に「受信環境クリーン図案コンクール」の作品を募集したところ、7校から208作品の応募がありました。

審査の結果、大場沙里奈（おおば さりな）さん（長野市立犀陵中学校3年）及び加藤野乃花（かとう ののか）さん（新潟市立新津第五中学校2年）の作品が信越受信環境クリーン協議会会長賞に決定したほか、協議会奨励賞2名、入選10名、佳作10名の24作品が入賞しました。

表彰式は、10月23日（土）にNHK長野放送局（長野会場）及び（株）新潟放送（新潟会場）の各会場で執り行われ、入賞者に賞状及び副賞を授与しました。

（問）情報通信部 放送課 026-234-9938



会長賞 長野市立犀陵中学校3年 大場 沙里奈さん



会長賞 新潟市立新津第五中学校2年 加藤 野乃花さん



奨励賞 長野市立犀陵中学校2年 南雲 みすずさん



奨励賞 新潟市立新津第五中学校2年 岡 悠佳さん



【入賞者表彰式（長野会場）】



【入賞者表彰式（新潟会場）】

管内における全体契約数の増加傾向続く！ ブロードバンドの普及状況（平成22年6月末現在）

管内のブロードバンドサービス全体の契約数は、新潟県では 479,428 件（普及率 58.5%）、長野県では 488,922 件（普及率 62.7%）となり、年間平均伸び率は新潟県 7.4%、長野県 5.5%となっています。

このうちF T T Hアクセスサービス契約数は、新潟県 259,264 件、長野県 245,556 件で、ブロードバンドサービス全体の半分以上を占めており、年間平均伸び率は新潟県 27.9%、長野県 23.9%となっています。

また、C A T Vアクセスサービス契約数については、新潟県 34,008 件（年間平均伸び率 24.7%）、長野県 94,167 件（年間平均伸び率 0.2%）となっています。

なお、D S Lアクセスサービス契約数は引き続き減少傾向にあり、新潟県では 30,305 件、長野県では 22,010 件、昨年同期（平成 21 年 6 月末）から減少しており、D S LサービスからF T T Hサービスへの移行が進んでいます。

〔ブロードバンドサービス別の契約数及び普及率〕

（平成 22 年 6 月末）

	ブロードバンドサービス全体		F T T H アクセス		D S L アクセス		C A T V アクセス	
	契約数	普及率	契約数	普及率	契約数	普及率	契約数	普及率
新潟県	479,428	58.5%	259,264	31.6%	186,067	22.7%	34,008	4.1%
長野県	488,922	62.7%	245,556	31.5%	149,113	19.1%	94,167	12.1%
全 国	33,549,122	67.7%	18,568,672	37.5%	9,361,054	18.9%	5,391,342	10.9%

※ブロードバンドサービス全体には、上表の他に、無線アクセスサービス（FWA、BWA）を含みます。

※普及率は、平成 17 年度国勢調査の全国の総世帯数を基にした世帯普及率を示す。

【総世帯数】 新潟県：819,552 長野県：780,245 管内合計：1,599,797 全国：49,566,305

（問）情報通信部 電気通信事業課 026-234-9936

暮らしの中に生きるデジタルアーカイブ！

～「地域 ICT 利活用セミナー」を長野市で開催～

信越総合通信局は、10月20日、長野県及び信越情報通信懇談会との共催で「地域 ICT 利活用セミナー ～暮らしの中に生きるデジタルアーカイブ～」を長野市で開催しました。長野県では、平成 21 年度総務省の「ユビキタスタウン構想推進事業」として、県内に散在する地域文化情報を集積し、県内外に開かれた情報プラットフォームを構築、活用することにより、地域の魅力が実感できるまちづくりに取り組む「長野県デジタルアーカイブ推進事業(信州デジくら)」を展開しています。本セミナーは、長野県における ICT による文化情報利活用の先進事例を紹介し、その成果を発表することを目的に開催したものです。当日は、デジタルアーカイブをめぐる電子図書館の取り組みから県立歴史館の文書や県信濃美術館・東山魁夷館の絵画などが閲覧できる長野県デジタルアーカイブシステム『信州デジくら』の紹介や地域活性化に役立つ映像の上映会など多岐に渡る講演となり関連企業の方や一般の方など約 100 名が参加し、講師の説明に耳を傾けメモを取るなどの姿も見られ内容の濃いセミナーとなりました。信越総合通信局では、これからも ICT を利活用した事業の普及促進と地域の活性化につながるセミナー等を開催していくこととしています。

（問）情報通信部 情報通信振興室 026-234-9937



講師 国立国会図書館関西館
電子図書館課 課長 大場氏



【地域 ICT セミナー会場】



講師 NPO 地域資料デジタル化研究会
副理事長 丸山氏



Let's 地デジ！ 私たちも応援します！！

第6回 NST新潟総合テレビ 廣川 明美さん

NSTは、あなたを、刺激する



新潟県及び長野県で地デジの周知広報活動に取り組む地デジ推進大使をシリーズで紹介しします。第6回は、NST新潟総合テレビの廣川明美さんです。

■地デジ推進大使に任命された感想は？

小さい頃から、テレビを見ることが大好きな私。地デジ大使に任命され、本当に光栄でした。しかし、当時は地デジについての知識が浅く、分からないことも多かったのですが、これから始まる日々ワクワクしたことを覚えています。今では、街で「あっ！地デジ大使だ！」と声を掛けられることもあり、とても嬉しく思っています。

■地デジ推進大使として活動（エピソードなど）しての感想は？

普段、他局のアナウンサーとは、一緒にお仕事をする機会がないので、イベントや撮影など、とても楽しい時間を過ごしています。みんなが集まると、毎回笑いが止まりません！夏には、新潟まつりのパレードに参加しました。猛暑の中でのパレードでしたが、新潟の皆さんの温かい声援に元気をもらいました。こうして、地元の方々と出会えることも、毎回楽しみです。

■地デジの良さについて一言（PR）！

とにかく、映像がキレイ！ずっと見ていたくなるような美しい映像にため息が出るほどです。そして、私のお気に入り、リモコンにある「d」ボタン。このボタンはまさに“魔法のボタン”。ドラマの登場人物やあらすじを知ることができるし、お料理番組で見逃してしまったレシピなども詳しく見ることも出来ます。また、録画予約もとっても簡単！！“テレビ大好き！でも、機械が苦手な私”に、優しい機能がいっぱいです。

■地域のみなさんに一言！

新潟の美しい自然は、地デジで見ると、うっとりするほどキレイに見えます。自然の中でさえずる鳥の声もハッキリ軽やかに聞こえます。地デジの完全移行はいよいよ来年7月。地デジで、もっとテレビライフを楽しみましょう！私も皆さんに、新鮮な情報をお届けできるよう、頑張ります！



■プロフィール
名前：廣川 明美（ひろかわ あけみ）
出身地：新潟県新潟市
趣味：読書、ショッピング
性格：マイペース☆

ICT研究開発セミナーin新潟を開催

～ICTによるイノベーションと地域活力の創出に向けて～

信越総合通信局は、信越情報通信懇談会との共催で、「ICT研究開発セミナーin新潟」を開催します。

- 日時 平成22年11月8日（月） 13時30分～16時30分
- 場所 新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」講義室A・B（JR新潟駅南口から徒歩3分）
- 講演 【セッション1】基調講演

演題 「情報通信技術政策の最新動向」（仮題）
講師 竹内 芳明 総務省情報通信国際戦略局 技術政策課長（予定）

【セッション2】研究開発事例

① 新潟大学の研究開発に向けた取り組み
演題 「環境保全と救急医療におけるICT ートキタグとエアタグ」
講師 牧野 秀夫 新潟大学工学部情報工学科 教授

② ICT研究開発最新動向

演題 「新たなネットワークの実現を支える、進化する仮想化技術」
講師 中尾 彰宏 東京大学大学院情報学環 准教授

【セッション3】新たな研究開発環境へ

演題 「新世代通信網テストベッド構想(JGN-X)」
講師 下條 真司 独立行政法人情報通信研究機構 大手町ネットワーク研究統括センター長
(大阪大学サイバーメディアセンター教授)



(問)情報通信部 情報通信振興室 026-234-9937

主な予定

■信書便制度に関する説明会を2ヵ所で開催

- (松本会場) 日時 12月3日(金) 14:00～15:30
場所 松電バスターミナルビル 7階会議室(松本市)
- (新潟会場) 日時 12月8日(水) 14:00～15:30
場所 コープシティ花園ガレッソホール 4階 C会議室(新潟市)

■電波の安全性に関する説明会を開催

- 日時 12月9日(木) 13:30～16:00
- 場所 湯沢ニューオータニホテル(南魚沼郡湯沢町)



ダリア(キク科)
木島平村のダリア園で撮影